

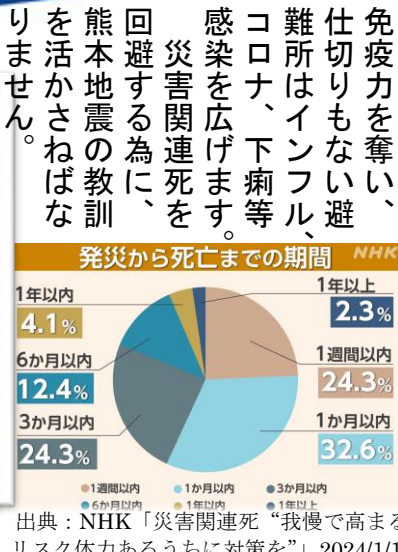
あべともこニュース

命と人間の尊厳を守る政治を！

◆災害関連死防止に全力を

2024年の元旦は、能登半島沖地震で新年のお祝いすら憚られる状況となりました。地震津波に加えて、大雨、大雪等の悪条件も加わり、土砂崩れや被災した家屋が雪の重みで潰れるなど、必死の救出と避難所への誘導が行われていますが、道路事情も悪く困難を極めています。生き埋めになった方が救出されたという報は嬉しいですが、逆に孤立した集落への支援はなかなか届かない状況です。

被災から十日を過ぎる頃から災害関連死も増えていきます。避難所からより生活環境の整った地域や施設への二次避難も始まりました。寒さは体力や免疫力を奪い、仕切りもない避難所はインフル、コロナ、下痢等感染を広げます。災害関連死を回避する為に、熊本地震の教訓を活かさねばなりません。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県 12 区（藤沢市・寒川町）
当選 8 回、東京大学医学部卒業
小児科医、あべともこ子ども
クリニック（湘南台）理事長
現在、厚生労働委員会
原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ
公式X (旧Twitter)
@abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ
公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索

◆ジェノサイドを止めよ！
10日、駐日パレスチナ常駐総支代表部のワリード・シラム大使と面会。昨年10月から続くイスラエルによるパレスチナ・ガザ地区への攻撃。既に三万人に及ぶ犠牲者のうち、四割が18歳以下の子ども達、そして女性である事は、民族浄化に等しくイスラエル側が常々主張する「正当防衛」とは程遠いのです。また親を失い、自分の身元すらわからない孤児世代の問題も深刻です。核攻撃も示唆される中、戦争での唯一の被爆国である日本がアメリカ等に追随することなく、率先して即時停戦の役割を担ってほしいと。12日には、国際司法裁判所で軍事作戦の停止をイスラエルに命じる暫定措置の審議が開始。無慈悲な暴力は絶対に許されません。即時停戦を！



1時間に渡りお話ししました！

◆橋を渡れば、二つの療養所

12月26、27日、岡山県のハンセン病施設長島愛生園と邑久光明園に視察へ行きました。

もともとハンセン病療養所は、隔離のために人里離れたところに作られましたが、長島愛生園は初の国立のらい療養所として、昭和5年岡山県瀬戸内対岸の長島に建てられました。日本におけるハンセン病の隔離政策として、患者の救済のためのベストな方法であると信じてやまなかった光田健輔医師が初代園長を務めていました。そして入所者の多くに死後の解剖を求め、その記録が数年前に見つかりました。

邑久光明園は、台風被害の後、大阪府から昭和13年にこの長島に移転。やはりたくさんさんの解剖記録が見つかり、同意の有無を含め検証委員会が人権侵害として詳細な報告を出しています。瀬戸内との間に横たわる瀬戸内海は静寂ですが、1988年に橋がかかるまで、船以外では渡れぬ島でした。二重の隔離であったことを橋が物語ります。

あべともこ後援会入会及び、ボランティアスタッフ募集中！



写真：邑久長島大橋。別名“人間回復の橋”長島と対岸の虫明を隔てる海は30m。